

1	午 前
---	-----

(2018 年 12 月 16 日 10 時 00 分～12 時 00 分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

貼付欄	 0A-0001	受験番号	0 A - 0 0 0 1	氏名	心 理 花 子
-----	---	------	---------------	----	---------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 公認心理師の名称を用いることができるのはどれか、正しいものを 1 つ選べ。

- | | |
|---|---------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降
② 合格発表日以降
③ 資格申請日以降
④ 公認心理師登録簿への登録日以降 | 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。 |
|---|---------------------------|

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

1	①	②	③	④
→				
1	①	②	③	●

① 医療法 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

- 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

- 解答用紙 B の場合

-

-

-

① 氏名 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

- 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

- 解答用紙 B の場合

-
- Diagram illustrating the removal of the first element (1) from the queue. The front pointer moves to the next element (2).

-

-

良い例 … ●

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

DKJM-午前-3

問1 公認心理師の登録取消しの事由として、正しいものを1つ選べ。

- ① 成年被後見人になった。
- ② 民事裁判の被告になった。
- ③ クライエントの信頼を失った。
- ④ スーパービジョンを受けなかった。
- ⑤ 保健医療、福祉、教育等の担当者と連携しなかった。

問2 精神科病院に通院中のクライアントが特定の人へ危害を加える可能性があるとは判断される場合、公認心理師が最初に行うべき行動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ただちに警察に連絡する。
- ② クライエントの主治医に状況を報告する。
- ③ クライエントに入院の可能性が高いことを説明する。
- ④ 犠牲者となり得る人に対して安全な所に身を隠すよう伝える。
- ⑤ クライエントの家族に、クライアントの行動について注意するよう助言する。

問3 公認心理師に求められるスーパービジョンについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① スーパーバイザーはスーパーバイジーを評価しない。
- ② スーパービジョンを受ける際クライアントの許可は必要ない。
- ③ スーパービジョンはスーパーバイジーの発達段階に合わせて行われる。
- ④ スーパーバイザーはスーパーバイジーへの心理療法を行う責任を有する。
- ⑤ スーパーバイザーは気づいたことをすべてスーパーバイジーに伝えることが基本である。

問4 ゲシュタルト心理学において中心的に研究され、現在も継続して研究されているものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 学習
- ② 感情
- ③ 態度
- ④ 知覚
- ⑤ 集団特性

問5 世界で最初の心理学実験室を創設した W. Wundt の心理学の特徴として、正しいものを1つ選べ。

- ① 行動レベルの反応を測定した。
- ② 心的過程の全体性を重視した。
- ③ 無意識の研究の発端となった。
- ④ ヒト以外の動物も実験対象とした。
- ⑤ 心的要素間の結合様式を解明しようとした。

問6 因子分析の斜交回転において各観測変数と各因子との相関係数を要素とする行列を表すものとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 共通性
- ② 独自性
- ③ 因子構造
- ④ 因子負荷
- ⑤ 単純構造

問7 コントラストの知覚についての心理測定関数を得て、そこから弁別
閾や主観的等価点を推定するための心理物理学的測定法として、最も適
切なものを1つ選べ。

- ① 階段法
- ② 極限法
- ③ 恒常法
- ④ 上下法
- ⑤ 調整法

問8 人格の個人差に関する行動遺伝学的説明について、最も適切なもの
を1つ選べ。

- ① 人格は単一の遺伝子によって規定される。
- ② 遺伝要因と環境要因の交互作用は統計的に検討できない。
- ③ 遺伝要因と環境要因の影響力は、個別には具体的な数値で表せない。
- ④ 成人期では一般的に、共有環境の影響は遺伝や非共有環境の影響より
も小さい。
- ⑤ 一卵性双生児と二卵性双生児のきょうだいそれぞれにおける人格特性
の相関係数は後者の方が高い。

問9 記憶障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① WMS-R は記憶障害の性質を分析できる。
- ② Korsakoff 症候群は記憶の保持ができない。
- ③ 獲得された過去の記憶が想起できないことを前向性健忘という。
- ④ 想起障害は手がかりによって思い出すことができる場合を指す。
- ⑤ 体験が想起できないエピソード記憶障害は潜在記憶の障害である。

問10 周囲の状況の影響を十分に考慮せずに、他者の行動が内的属性に基づいて生じていると評価する傾向について、正しいものを1つ選べ。

- ① 対比効果
- ② 割増原理
- ③ 転向モデル
- ④ 対応バイアス
- ⑤ セルフ・ハンディキャッピング

問11 知的な遅れがなく、社会性やコミュニケーションを中心とした発達障害が疑われる児童に対して用いる検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ADHD-RS
- ② ADOS- 2
- ③ M-CHAT
- ④ Vineland- II
- ⑤ WISC-IV

問12 障害のある児童生徒への合理的配慮に該当する例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 特別支援学校(視覚障害)の授業で点字を用いる。
- ② 特別支援教室において個別の取り出し指導を行う。
- ③ 肢体不自由の児童生徒のために学校にエレベーターを設置する。
- ④ 特別支援学校(聴覚障害)の授業で音声言語とともに手話も使う。
- ⑤ 試験の際、書字障害の児童生徒にパーソナルコンピューターでの答案作成を許可する。

問13 心理アセスメントにあたっての基本的な情報の収集方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ワンウェイミラーの行動観察はアセスメントに必要である。
- ② 生育歴の聴取はアセスメントの基本となるため、初回面接で行う。
- ③ 心理検査は一定の状況設定で行うため、得られた情報は客観的で信頼できる。
- ④ アセスメントは面接でクライアントのニーズや来談経緯を聞くことから始まる。
- ⑤ 家族関係把握のためのジェノグラム作成には動的家族画や合同家族画が役立つ。

問14 「関与しながらの観察」について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 関与も観察もともに観察者だけが行うことである。
- ② H. S. Sullivan が提唱した実験的観察法に関する概念である。
- ③ 関与と観察は不可分のものであるため、観察者は中立的に参加しながら観察を行う。
- ④ 観察者は現象に人為的な操作を加え、条件を統制したり関与したりしながら観察を行う。
- ⑤ 観察者は自身が1つの道具としての性質を持っており、自らの存在の影響を排除できない。

問15 NEO-PI-R について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① G. W. Allport が開発した。
- ② 人格の類型論が背景にある。
- ③ 誠実性と調和性は後から加えられた。
- ④ 敵意は外向性の下位次元に含まれる。
- ⑤ 各人格次元にはそれぞれ 2 つの下位次元がある。

問16 初回面接でのクライアントとの関わりにおいて必要な態度として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① ラポール形成のために、早急な助言を控える。
- ② クライアントの主観的現実よりも客観的事実を重視する。
- ③ クライアントの言葉に疑義を挟まず、そのままの言葉を返す。
- ④ 主訴と状況を早く理解するために、できるだけ多くの情報を得る。
- ⑤ クライアントが主訴とその状況を話しやすいよう、定型の質問を準備しておく。

問17 バーンアウトについて、正しいものを1つ選べ。

- ① バーンアウトの中核的な特徴は不安である。
- ② バーンアウトが最も多い職種は生産技術職である。
- ③ バーンアウトを初めて提唱したのは C. Maslach である。
- ④ バーンアウトした人は他者に対して無関心になりやすい。
- ⑤ バーンアウトにおける情緒的消耗感とは自分への不信や疑惑が生じる状態を指す。

問18 認知症の症状を中核症状と Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia (BPSD) とに分けた場合、中核症状に分類される内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 失禁
- ② 失行
- ③ 徘徊
- ④ 妄想
- ⑤ 抑うつ

問19 マルトリートメント(不適切な養育)について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 貧困との関連は乏しい。
- ② 初めに養育者に反省を促す。
- ③ 子どもの脳の器質的問題は発生しない。
- ④ 養育者自身の自尊感情とは関係がない。
- ⑤ 多角的な視点でアセスメントする必要がある。

問20 非行について、正しいものを1つ選べ。

- ① 校内暴力は中学校と高等学校で増加傾向にある。
- ② 非行少年とは触法少年、虞犯少年及び不良行為少年の3つをいう。
- ③ 少年鑑別所は非行に関する親や学校からの相談や非行防止への援助の業務を担う。
- ④ 児童相談所は家庭裁判所から送致を受けた少年を児童自立支援施設に措置することはできない。
- ⑤ 非行少年は家庭裁判所での審判を受け、保護観察又は少年院送致のいずれかの保護処分を受ける。

問21 不登校について、正しいものを1つ選べ。

- ① 支援の目的は登校させることである。
- ② 支援策の策定は担任教師の責任において行う。
- ③ 教育上の重大な問題行動であるという認識を持つことが必要である。
- ④ 病気や経済的理由を除き、年度間に連続して30日以上欠席したものをいう。
- ⑤ 学業不振が要因の1つであることから、学習指導方法を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図る。

問22 D. A. Andrews と J. Bonta が主張する RNR モデル〈Risk-Need-Responsivity model〉の内容について、正しいものを1つ選べ。

- ① 予後評価の際には犯罪歴や処分歴は考慮しない。
- ② 予後評価の精度は伝統的な非構造的臨床判断より低い。
- ③ 犯罪を支える態度が変容すれば、再犯リスクは低減する。
- ④ ニーズ原則は対象者の能力や学習スタイルに適した処遇課題を与えることである。
- ⑤ 再犯リスクを低減させることに限定せず、良い人生を送ることを目標に掲げている。

問23 平成26年度以降の過労死等の労災補償状況のうち、脳・心臓疾患に関する事案で支給決定件数の最も多かった業種(大分類)として、正しいものを1つ選べ。

- ① 建設業
- ② 製造業
- ③ 運輸業、郵便業
- ④ 卸売業、小売業
- ⑤ 宿泊業、飲食サービス業

問24 記憶について、正しいものを1つ選べ。

- ① エピソード記憶は反復によって記憶される。
- ② 長期記憶の保持には側頭葉や間脳が関わる。
- ③ 短期記憶は一次記憶とも呼ばれ、数時間保持される。
- ④ 運動技能や習慣などに関する記憶は意味記憶と呼ばれる。
- ⑤ 自分の名前のように生涯保持される記憶は二次記憶と呼ばれる。

問25 認知症について、正しいものを1つ選べ。

- ① Lewy 小体型認知症は幻聴を特徴とする。
- ② Alzheimer 型認知症は感情失禁を特徴とする。
- ③ 血管性認知症は抑うつやせん妄が生じやすい。
- ④ 前頭側頭型認知症では初期から記憶障害が著明である。
- ⑤ Creutzfeldt-Jakob 病は他の認知症に比べて進行が緩徐である。

問26 がん患者とその支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① 合併する精神医学的問題は不安障害が最も多い。
- ② がんに起因する疼痛は心理的支援の対象ではない。
- ③ がん患者の自殺率は一般人口の自殺率と同等である。
- ④ がんに起因する抑うつに対しては薬物療法が支援の中心になる。
- ⑤ 包括的アセスメントの対象には、がんそのものに起因する症状と、社会経済的、心理的及び実存的問題とがある。

問27 神経性無食欲症について、正しいものを1つ選べ。

- ① 主な死因は自殺である。
- ② 摂食制限型は衝動性が高い。
- ③ 有病率の男女比は約1：2である。
- ④ 体重と体型に関する自己認識の障害がある。
- ⑤ WHOの基準でBody Mass Index〈BMI〉 17 kg/m^2 は、成人では最重度のやせである。

問28 初回面接中の来談者の発言のうち、すぐに精神科へ紹介すべきものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 最近、動悸と不安が続きます。
- ② 時々、記憶がなくなることがあります。
- ③ ショックなことがあって体が動きません。
- ④ あなたたちは私の秘密を知っているでしょう。
- ⑤ 会社を解雇されました。皆、同じ苦しみを味わえばいい。

問29 学校教育法に規定されている内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 学校には各種学校が含まれる。
- ② 中等教育学校の修業年限は3年とする。
- ③ 校長は教育上必要があると認めるときは、児童生徒に転校を命じることができる。
- ④ 市町村の教育委員会は、教育上必要があると認めるときは、児童生徒に懲戒を加えることができる。
- ⑤ 市町村の教育委員会は、他の児童生徒の教育を妨げると認められる児童生徒があるときは、その保護者に対して、児童生徒の出席停止を命じることができる。

問30 学校運営協議会制度に基づくコミュニティ・スクールについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 協議会は全校に設置が義務付けられている。
- ② 協議会の委員は、地域の住民から選出し校長が任命する。
- ③ 協議会は教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができる。
- ④ 協議会の委員に、当該学校に在籍する児童生徒の保護者を任命することは控える。
- ⑤ 協議会が協議の結果を積極的に関係者に提供することは、児童生徒に影響するため控える。

問31 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律〈医療観察法〉に規定する内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 指定医療機関の指定は、法務大臣が行う。
- ② 精神保健観察の実施は、保護司が従事する。
- ③ 対象となる行為には、恐喝や脅迫が含まれる。
- ④ 精神保健参与員は学識経験に基づき、審判でその意見を述べなければならない。
- ⑤ 被害者等は、裁判所の許可により審判を傍聴できるが、意見を述べることはできない。

問32 知能とその発達について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 知能指数とは一般的に「精神年齢÷生活年齢×100」の値を指す。
- ② 流動性知能は主に神経生理学的要因の影響を受けて形成される。
- ③ 知能は全般的に青年期前期にピークに達し、その後急速に衰退する。
- ④ 結晶性知能は主に経験や教育などの文化的要因の影響を受けて形成される。
- ⑤ 知能の発達曲線は横断研究と縦断研究のデータで大きく食い違うことがある。

問33 高齢期に関する理論とその理論が重視する高齢期の心理的適応の組合せについて、誤っているものを1つ選べ。

- ① 活動理論 — 中年期の活動水準を維持すること
- ② 離脱理論 — 社会的活動から徐々に引退すること
- ③ 老年的超越論 — 物質的で合理的な世界観を捨て、宇宙的な世界観を持つこと
- ④ 社会情緒的選択理論 — 情緒的安定のために他者からの知識獲得を行うこと
- ⑤ 補償を伴う選択的最適化〈SOC〉理論 — 喪失を補償すべく領域を選択し、そこでの活動を最適化すること

問34 心理アセスメントについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① アセスメント面接では構造化されていない自由面接を用いる。
- ② アセスメント面接は一般に治療的面接を開始する前に行われる。
- ③ クライエントのリソースや強みなど肯定的心理的特徴も見定める。
- ④ クライエントの問題を包括的に捉えるためにテストバッテリーを組む。
- ⑤ クライエントの許可を得たうえで、必要に応じて関係者から情報を収集する。

問35 日本で戸籍上の性別が変更できる要件として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 生殖機能を欠くこと
- ② 年齢が18歳以上であること
- ③ 未成年の子どもがいないこと
- ④ 他の性別の性器の部分に似た外観を備えていること
- ⑤ 2人以上の医師により性同一性障害と診断されていること

問36 特定妊婦のリスク要因として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 若年妊娠
- ② 多胎妊娠
- ③ 経済的困窮
- ④ 望まない妊娠
- ⑤ 母子健康手帳未交付

問37 認知症のケアに用いる技法として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 回想法
- ② 動作法
- ③ バリデーション
- ④ デブリーフィング
- ⑤ リアリティ・オリエンテーション

問38 チーム医療の考え方として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① チーム医療は医療機関内で提供されるものをいう。
- ② 患者や家族は医療チームの構成メンバーの一員とみなされない。
- ③ チーム医療のリーダーシップは状況によって構成メンバーの中で移譲される。
- ④ 構成する専門職個々のテクニカルスキルが高ければ、チーム医療は効果的に遂行される。

問39 オペラント条件づけで、逃避学習や回避学習を最も成立させやすいものとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 正の罰
- ② 負の罰
- ③ 正の強化
- ④ 負の強化

問40 言語の音韻面の発達について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生後すぐの新生児には、クーイングと呼ばれる発声がみられる。
- ② 1歳に達するまでに、徐々に非母語の音韻に対する弁別力は弱くなる。
- ③ 2歳までに言語の音韻的な側面についてのメタ言語的な理解が始まる。
- ④ 種々の韻律的特徴を持つジャーゴンが出現した後に、音節を反復する基準喃語が生じてくる。

問41 精神障害に対するスティグマ(差別、偏見)について、正しいものを1つ選べ。

- ① セルフスティグマを軽減する方法はない。
- ② 社会的スティグマは認知的側面と感情的側面の2つから構成される。
- ③ 社会的スティグマの強さと当事者の自尊感情との間には正の相関がある。
- ④ 対象への反応時間を測定することにより潜在的なスティグマが評価できる。

問42 要支援者等の個人情報とプライバシーの保護について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 心理的支援にあたって収集する情報は、すべて要配慮個人情報に該当する。
- ② 未成年者の支援事例について学会発表を行う場合、保護者の代諾を得るだけでよい。
- ③ 効果的な援助のためにプライバシー開示が必要な場合でも、要支援者に開示を強制してはならない。
- ④ どのような場合でも、要支援者本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供してはならない。

問43 いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自分よりも弱い者に対し一方的に与える身体的・心理的な攻撃であること
- ② 身体的・心理的な攻撃が継続的に加えられ、相手が深刻な苦痛を感じていること
- ③ 一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じていること
- ④ 一定の人的関係のある他の児童生徒から、心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを含む。)を受け、それによって心身の苦痛を感じているということ

問44 アセスメントを目的とした学校での子どもの行動観察について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 観察者が単独で場所や時間を限定して行う。
- ② 焦点をあてる具体的な行動を明確にして行う。
- ③ 記録方法としては、量的な記録よりも質的な記録が適している。
- ④ 行動を観察することで、子どもの内面を理解することができる。

問45 スクールカウンセラー等活用事業について、正しいものを1つ選べ。

- ① 配置方式としては、現在は全国で通常配置(単独校方式)で統一されている。
- ② 公立高等学校への配置については、各自治体で事業の実施に係る配置校総数の50%程度を目安とする。
- ③ 被災した児童生徒等の心のケア等を行うため、学校等にスクールカウンセラー等を緊急配置する事業も含まれる。
- ④ 平成7年度にスクールカウンセラー活用調査研究(委託事業)が創設され、現在まで国費100%の事業として継続している。

問46 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律〈労働者派遣法〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 派遣労働者本人からの意見を聴取すれば、派遣労働者を3年を超えて派遣できる。
- ② 専門的知識や技術を必要とする26の業務に限り、派遣労働者を3年を超えて派遣できる。
- ③ 60歳以上の派遣労働者を派遣する場合は、派遣先の事業所における同一の組織単位に対し、3年を超えて派遣できる。
- ④ 事業所単位での派遣可能期間の延長があれば、派遣先の事業所における同一の組織単位に対し、3年を超えて派遣できる。

問47 公認心理師法に規定されている内容として、正しいものを2つ選べ。

- ① 公認心理師は業務独占が認められている。
- ② 名称使用制限の違反に対しては罰則規定がある。
- ③ 信用失墜行為には法律に違反する行為以外の行為も含まれる。
- ④ 守秘義務はその資格の登録を受けている期間においてのみ発生する。
- ⑤ 心理に関する支援を要する者の診断は公認心理師の業務に含まれる。

問48 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉に基づく地域移行支援の対象者として、正しいものを2つ選べ。

- ① 拘置所に収容されている障害者
- ② 児童福祉施設に通所している障害者
- ③ 少年鑑別所に収容されている障害者
- ④ 療養介護を行う病院に入院している障害者
- ⑤ 地域活動支援センターに通所している障害者

問49 チーム医療において公認心理師が行う内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① BDI による評価
- ② COGNISTAT の実施
- ③ バーセルインデックスの評価
- ④ 入院患者のせん妄のリスク評価
- ⑤ グラスゴーコーマスケール〈GCS〉の判定

問50 加齢の影響を受けにくい記憶として、適切なものを2つ選べ。

- ① 意味記憶
- ② 手続記憶
- ③ 展望記憶
- ④ エピソード記憶
- ⑤ ワーキングメモリ

問51 感情の諸理論に関する説明について、適切なものを2つ選べ。

- ① 戸田正直は、感情は迅速な環境適応のために進化してきたと唱えた。
- ② S. Tomkins は、血流変化によって感情の主観的体験が説明されると唱えた。
- ③ B. L. Fredrickson は、負の感情が注意、思考、活動等のレパートリーの拡大や資源の構築に役立つと唱えた。
- ④ R. B. Zajonc は、感情反応は認知的評価に先行し、感情と認知はそれぞれに独立した処理過程であると唱えた。
- ⑤ S. Schachter と J. Singer は、環境の変化と身体活動の変化によって感情の主観的体験が説明されると唱えた。

問52 DSM-5 の神経発達症群／神経発達障害群について、正しいものを2つ選べ。

- ① 選択性緘黙が含まれる。
- ② 典型的には発達早期に明らかとなる。
- ③ 知的障害を伴わない発達障害のグループである。
- ④ 異なる神経発達症が併発することはほとんどない。
- ⑤ 発達の里程碑への到達の遅れだけでなく、過剰な兆候も含まれる。

問53 精神力動療法について、適切なものを2つ選べ。

- ① クライエントの主観的世界を理解し受容する。
- ② 不安や恐怖を喚起して、それを段階的に和らげていく。
- ③ 無意識的な心的過程が存在することが基本前提となる。
- ④ 催眠療法から発展して外傷体験を想起させる方法へと移行した。
- ⑤ 不快感や恐怖などの感情を喚起する内的なイメージや思考を変容させる。

問54 心の健康問題により休業した労働者が職場復帰を行う際に、職場の公認心理師が主治医と連携する場合の留意点として、正しいものを2つ選べ。

- ① 主治医と連携する際は、事前に当該労働者から同意を得ておく。
- ② 主治医の復職診断書は労働者の業務遂行能力の回復を保証するものと解釈する。
- ③ 主治医に情報提供を依頼する場合の費用負担については、事前に主治医と取り決めておく。
- ④ 主治医から意見を求める際には、事例性よりも疾病性に基づく情報の提供を求めるようにする。
- ⑤ 当該労働者の業務内容については、プライバシー保護の観点から主治医に提供すべきではない。

問55 児童福祉法で定めている児童福祉施設として、正しいものを2つ選べ。

- ① 少年院
- ② 乳児院
- ③ 教育相談所
- ④ 児童相談所
- ⑤ 母子生活支援施設

問56 動機づけ理論について、適切なものを2つ選べ。

- ① 自己実現欲求は欠乏動機である。
- ② 動機づけ要因は、満たされていれば満足につながる。
- ③ 有能さや自己決定の感覚が強められると、動機づけは高まる。
- ④ 金銭などの外的報酬は、その水準が変わらなければ、動機づけを維持する効果は時間とともに弱まる。
- ⑤ 内発的動機づけが働いている行動に、賞罰などの外的報酬を加えることで、動機づけは更に高められる。

問57 選択的セロトニン再取り込み阻害薬〈SSRI〉の副作用として、適切なものを2つ選べ。

- ① 心房細動
- ② 排尿障害
- ③ 悪心・嘔吐
- ④ 賦活症候群
- ⑤ 起立性低血圧

問58 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉について、正しいものを2つ選べ。

- ① 高齢者虐待を発見した場合の通報先は、都道府県である。
- ② この法律の「養護者」とは、介護家族と養介護施設従事者のことをいう。
- ③ 高齢者の保護だけではなく、家族等の養護者に対する支援も大きな目的の1つとしている。
- ④ 生命又は身体に重大な危険が生じている高齢者虐待を発見した場合は、速やかに通報しなければならない。
- ⑤ 高齢者虐待の種別は、身体的虐待、心理的虐待、介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)及び性的虐待の4つである。

問59 27歳の女性A、会社員。3年前から大きなプロジェクトの一員となり、連日深夜までの勤務が続いていた。気分が沈むため少し休みたいと上司に申し出たところ、認められなかった。徐々に不眠と食欲不振が出現し、出勤できなくなった。1週間自宅にいたが改善しないため、精神科を受診した。自責感、卑小感及び抑うつ気分を認め、Aに対して薬物療法が開始され、主治医は院内の公認心理師に面接を依頼した。

Aへの公認心理師の言葉として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 趣味で気晴らしをしてみましょう。
- ② 労働災害の認定を申請してはどうですか。
- ③ 自分のことを責める必要はないと思います。
- ④ 他の部署への異動を願い出てはどうですか。
- ⑤ 私が代わりに労働基準監督署に連絡しましょう。

問60 28歳の女性A。バスで通勤中、突然、激しい動悸と息苦しさに襲われ、強い不安を感じた。途中のバス停で降りてしばらく休んでいたら、落ち着いたので、その日は会社を欠勤し帰宅した。その後、繰り返し同じ発作に見舞われ、また発作が起こるのではと不安が強くなった。バスに乗るのが怖くなり、家族に車で送ってもらわないと出勤できなくなった。やがて外出することも困難となったため、医師の紹介で相談室を訪れた。

A に対する認知行動療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① イメージは用いず、現実的な状況を段階的に経験させる。
- ② 不安な気持ちに共感し、安全な行動をとるようにさせる。
- ③ 一人での練習は危険を伴うため、ホームワークは用いない。
- ④ 発作の前兆である身体症状を意図的に作り出し、経験させる。
- ⑤ より機能的な考え方に修正できるよう、リラクセーション法は用いない。

問61 34歳の男性、会社員。1年前、バイク事故により頭部を打撲し意識障害がみられたが、3日後に回復した。後遺症として身体的障害はみられなかった。受傷から9か月後に復職したが、仕事の能率が悪く、再度休職になった。現在の検査所見は、以下のとおりである。

順唱6桁、逆唱5桁、リバーミード行動記憶検査標準プロフィール点9点、WAIS-Ⅲ：FIQ 82、VIQ 86、PIQ 78、遂行機能障害症候群の行動評価〈BADS〉総プロフィール得点 20点、SDS うつ性自己評価尺度総得点 30点。

検査所見により示唆される主たる障害として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 記憶障害
- ② 知能障害
- ③ 注意障害
- ④ 抑うつ障害
- ⑤ 遂行機能障害

問62 84歳の女性。5年前に Alzheimer 型認知症と診断された。現在、ミニメンタルステート検査〈MMSE〉が5点で、介護老人保健施設に入所中である。夜中に自室からスタッフルームにやってきて、「息子が待っているので自宅に帰りたい」と言い、廊下を歩きはじめた。

このとき、一般的に勧められる職員の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 息子に連絡し、外泊をさせるように依頼する。
- ② 頓用の睡眠薬を服用させ、徘徊による体力の消耗を避ける。
- ③ 施錠できる安全な部屋に誘導し、保護の目的で扉を施錠する。
- ④ 息子は自宅に不在であることを説明し、自室に戻るよう説得する。
- ⑤ しばらく一緒に廊下を歩き、「夜遅いのでここに泊まりましょう」と提案する。

問63 小学校で原因不明の爆発事故が起こり、多数の負傷者がいると通報があった。所轄警察署に勤務する公認心理師は事故発生後、他の署員とともに直ちに事故現場において被害者支援を行った。

事故の連絡を受けて駆け付けた保護者への公認心理師の優先される対応として、適切なものを1つ選べ。

- ① 報道機関の取材に応じる。
- ② 保護者が希望しない限り、情報提供を控える。
- ③ 学校教職員から保護者に説明する場を設定する。
- ④ 免許証などにより保護者を確認し、部外者の侵入を防ぐ。
- ⑤ 関係者と協力して児童の状況について情報を集め、保護者に提供する。

問64 3歳の女児A。Aはネグレクトで児童相談所に保護された。Aは非嫡出子として出生した。母親はAの情緒的要求に応じることが乏しく、Aを家に放置することが多かったため、一時保護に至った。保護をして1か月が過ぎた。Aは職員とはコミュニケーションはとれるものの、怪我をするなど困ったときには助けを求めることがない。就寝時に絵本を読みきかせたところ、Aは興味を示し、楽しい場面に笑顔を見せた。

Aに考えられる障害として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 広汎性発達障害
- ② 反応性愛着障害
- ③ 重度精神遅滞[知的障害]
- ④ 分離不安症／分離不安障害
- ⑤ 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉

問65 中学2年の担任教師 A。A は、中学校でスクールカウンセリングを担当している公認心理師に次のように相談した。クラスの女子生徒 B が「誰にも言わないでください」と前置きし、「小学校6年生になったころから、母親が夜仕事に出ていくと継父が夜中に布団に入ってくる。夜になるとまた来るのではないかと恐ろしくて眠れない」と話した。A は性的虐待の可能性が高いと思うが、B に詳しく聞いていないため確証が得られていない。今後、担任教師としてどのように対応すべきか助言してほしいという。

A に対する公認心理師の助言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 母親に電話して事実を確認する。
- ② A が中心となって、この問題に取り組む。
- ③ 虐待の可能性があることを、児童相談所に通告する。
- ④ 安心して話していいと B に伝えて、話してくるまで待つ。
- ⑤ 秘密は必ず守ると B に伝え、これまでの経緯と現状を詳しく尋ねる。

問66 中学校の担任教師が担当する5名の生徒について、日常の様子と知能検査の結果を参照して次のように考えている。Aは怠学傾向がみられそもそも勉強に関心が向いていない。Bは知能指数が高いにもかかわらず学力が向上しない。Cの学力が向上しない理由は知能指数の低さにありそうだ。Dは知能指数が低いことに加え、注意散漫で授業に集中できない。Eは知能指数が低いにもかかわらず学力が高い。

5名の生徒のうち、アンダーアチーバーが疑われる生徒として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

問67 14歳の女子A、中学2年生。Aの母親Bは、Aの不登校について相談するために、中学校のスクールカウンセラーを訪ねてきた。Aは、朝に体調不良を訴えて2週間ほど欠席が続くようになった。Bが理由を聞いてもAは話したがらず、原因について分からない状態が続いていると、Bは家庭での様子を説明した。学習の遅れも心配で、Aに対して登校を強く促す方が良いのか、黙って見守った方が良いのか判断がつかない。「担任教師の心証を悪くしたくないので、まずは担任教師に内緒で家庭訪問をしてAの気持ちを聴いてほしい」とBから依頼された。

このときのスクールカウンセラーの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aが希望すれば家庭訪問をすると説明する。
- ② 管理職と相談して家庭訪問について検討する。
- ③ Aの様子を聴き、医療機関で検査や治療を受けるよう勧める。
- ④ 「心配しなくて大丈夫です。そのうち解決しますよ」と励まし面談を終了する。
- ⑤ 理由がはっきりしないのであれば、学校に行くよう促した方が良いと助言する。

問68 30歳の男性A、仮釈放中。Aは無職で、引受人の母親と暮らしている。Aには、遵守事項によって、保護観察所での専門的処遇プログラムへの参加が義務付けられている。第3回目のプログラム開始の2時間前に、Aは保護観察所に電話をかけ「保護観察所に行くための電車賃がなく、本日はプログラムに参加できない。プログラムの不参加によって仮釈放が取り消されたとしてもかまわない」と担当保護観察官Bに話した。Bが、交通費の支出を母親に依頼できないかAに尋ねたところ、Aは「母親は家にいるが頼めない。これ以上迷惑をかけられない」と繰り返した。

このときのBの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 担当保護司に連絡を取り、Aに交通費を貸与するように依頼する。
- ② 次回の専門的処遇プログラムに必ず参加する旨の誓約書を送らせる。
- ③ 交通費を確保して次回からの専門的処遇プログラムに参加するように指導する。
- ④ 電話を母親に代わってもらい、交通費を貸与あるいは支出するように依頼する。
- ⑤ 交通費は更生緊急保護によって支給されるので、本日の専門的処遇プログラムに参加するように指導する。

問69 9歳の男児 A、小学校3年生。実父母から身体的虐待を受けて小学校1年のときに児童養護施設に入所した。入所当初は不眠、落ち着きのなさ、粗暴行為が見られたが、現在はほぼ改善し、日々の生活は問題なく過ごせるようになっている。実父母は施設の公認心理師との面接などを通して、暴力に頼ったしつけの問題や、虐待にいたるメカニズムを理解できるようになった。毎週の面会に訪れ、Aとの関係も好転している様子うかがわれた。小学校3年になって、Aと実父母が家庭復帰を希望するようになった。

家庭復帰に関して施設が行う支援について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 家庭復帰後の懸念される事態について児童相談所と話し合う。
- ② 実父母と子どもと一緒に、帰省や外泊の日程やルールなどを検討する。
- ③ 週末帰省中に、再び実父母からの虐待が認められた場合には、家庭復帰については再検討する。
- ④ 実父母が在住する市の要保護児童対策地域協議会でのケース検討会議の開催を、児童相談所を通して市に依頼する。
- ⑤ 家庭復帰後は、施設措置が解除となり、市の要保護児童対策地域協議会の監督下に入るため、施設からの支援は終了する。

問70 15歳の女子A、中学3年生。8歳で発達障害と診断されたが、Aの保護者はその診断を受け入れられず、その後Aを通院させていなかった。Aはクラスメイトとのトラブルが続き、半年前から学校への行きしぶりが続いている。Aの保護者は、学校のAに対する対応に不満を持ち、担任教師Bに協力的な姿勢ではなかった。Bの依頼を受けた公認心理師であるスクールカウンセラーが介入することになった。

A、Aの保護者及びBに対する支援として、不適切なものを1つ選べ。

- ① Aに適した指導案をBに指示する。
- ② 学校に対するAの保護者の気持ちを受け止める。
- ③ 学校全体で対応する視点を持つようにBに助言する。
- ④ Aの保護者とBに一般的な発達障害の特性について説明する。
- ⑤ Aの保護者にAの医療機関への受診を検討するように勧める。

問71 23歳の女性A、新入社員。Aにとって仕事は面白く熱心に取り組んでいた。ある日、残業後に職場の先輩の男性社員から夕食に誘われ、一緒に夕食を取った。先輩の話は会社のことや仕事のことなど知らないことばかりでとても役立ったため、「また誘ってください」と伝えた。しかし、その後先輩から頻繁に食事に誘われるようになり、Aが都合が悪いと言うと不満げな顔をされたり、いつなら都合が良いかと聞かれたりするため、しつこいと感じるようになった。最近、誘われるのが嫌で会社を休むようになった。Aはそのことで社内の相談室に来室した。

Aに対する相談室の公認心理師の言葉として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 体調で気になることはありませんか。
- ② あなたが相談にいらしたことはとても意味のあることだと思います。
- ③ はっきり断らないから、相手を勘違いさせてしまったのではないですか。
- ④ また誘ってくださいと言ったのは、職場の先輩に対する言葉として理解できます。
- ⑤ せっかく仕事も面白いと感じているのに、このようなことが起きてショックですよ。

問72 24歳の女性A、会社員。Aは最近、職場で不安や緊張を感じるようになった。子どもの頃から成績は平均より上だったが、おとなしく内気な性格で友人は少なかった。就職した当初は単独作業が多かったが、配置転換により年上の先輩との協働作業が増えた。先輩の前では会議資料の準備をするときに緊張が高まり発汗し、ハンカチが手放せなくなった。変な人に思われるのではないかと思うと手が震え、視線を避けようとすると奇異に思われるのではないかと不安が高まるようになった。Aは出勤が負担に感じられるようになり心理相談室を訪れた。

Aに実施するテストバッテリーに含める心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAARS
- ② IES-R
- ③ KABC-II
- ④ LSAS-J
- ⑤ Y-BOCS

問73 22歳の女性A、大学4年生。アルバイトや就職活動で疲弊し、試験勉強がまったく手につかないとAは学生相談室を訪れ、公認心理師に訴えた。Aは涙を流しており、事実関係は整理されておらず、混乱した様子であった。公認心理師とはほとんど視線を合わせず、うつむいたままであった。ベック抑うつ性尺度では、中等度のうつという結果が出された。MMPIの結果は、ほとんどの臨床尺度のT得点が60を超えていた。妥当性尺度は、?尺度 = 0、L尺度 = 30、F尺度 = 90、K尺度 = 40であった。

これらの情報からの判断として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aは防衛が強く、問題の程度が低く現れている。
- ② 一貫性のある回答が多く、素直に回答している。
- ③ 社会的望ましさの回答が多く、検査の結果が歪曲されている。
- ④ 精神的苦痛を誇張しているため、全体の得点が高くなっている。

問74 36歳の女性A、事務職。がん検診で乳がんが見つかった。通院のため、上司に事情を説明すると「がんの治療のことを考えたら、退職せざるを得ないね」と言われ、ショックを受けた。社内相談室の公認心理師に相談に来て、「もう立ち直れない。何も考えられない。退職するしかない」と訴えた。

Aへの公認心理師の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① Aの心理的な状態を把握し、産業保健スタッフと連携する。
- ② 休職して治療に専念し、完治したら職場復帰の手続きをとるように助言する。
- ③ Aの要望に応じて、産業医から上司にAの病状や必要な配慮について説明できることを伝える。
- ④ 社内の産業保健スタッフと医療機関とが連携し、仕事を継続しながら治療を受ける方法があることを説明する。

問75 45歳の女性。もともと緊張しやすい性格である。5年前、現在の会社に転職した頃に頭痛が続いたことがあったが、鎮痛薬を飲んでいるうちに消失した。3か月前に他部署から異動してきた部下の女性の仕事ぶりに対して不満を感じるが我慢をしていた。頭を絞めつける頭痛が毎日のように3～4時間続くようになった。鎮痛薬を頓用していたが軽減しなかった。心療内科を受診後、公認心理師を紹介された。

公認心理師が行う提案として、適切なものを2つ選べ。

- ① 部下の女性と接する機会を減らす。
- ② 鎮痛薬の定期的な服薬によって痛みを減らす。
- ③ 漸進的筋弛緩法によって心身の緊張を和らげる。
- ④ 頭痛日誌によって状況と頭痛の強さの関連を理解する。
- ⑤ 不満を言わないで済むように部下の女性の気持ちを理解する。

問76 72歳の男性A。76歳の妻Bと二人暮らしである。Bは2年前にAlzheimer型認知症の診断を受け、現在は要介護3の状態である。Aはもともと家事が得意であり、介護保険サービスを利用することなく在宅で介護していた。Aには、Bに苦勞をかけたことが認知症の原因だという思いがあり、限界が来るまで自分で介護したいと強く望んでいる。最近Bが汚れた下着を隠すようになり、それを指摘してもBは認めようとしない。Aは時々かっとなって手が出てしまいそうになるが、何とか自分を抑えてきた。

Bの主治医から依頼を受けた公認心理師の行うべき支援として、適切なものを2つ選べ。

- ① 介護負担軽減のためにBの施設入所を勧める。
- ② Aと定期的に面接を行い、心理的負担を軽減する。
- ③ 虐待の可能性があるため、Bと分離する手続を進める。
- ④ Bの主治医と相談し、Aの精神的安定のため投薬を依頼する。
- ⑤ Aの許可を得て、地域包括の介護支援専門員とともに負担軽減のためのケアプランを検討する。

問77 36歳の男性 A、会社員。3年ほど前から、外出する際に戸締りやガスの元栓を閉めたかが気になって何回も確認するようになった。そのため、最近では外出するのに非常に時間がかかる。また、車を運転しているときに人をひいたのではないかと気になって、頻繁に道路を確かめる。Aは、これらの行為が不合理なものと認識しており、行為をやめたいと思っているが、やめられない。そのほかには思考や行動に明らかな異常はなく、就労を継続している。

A に対する治療法として、適切なものを 2つ 選べ。

- ① 行動療法
- ② 自律訓練法
- ③ 非定型抗精神病薬
- ④ ベンゾジアゼピン系抗不安薬
- ⑤ 選択的セロトニン再取り込み阻害薬〈SSRI〉

